

# CASBEE 横浜 [戸建] | 評価結果 | 29-102



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)  
桜台023③ No.3

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.0

スコアシート				
配慮項目	重点項目	評価点	重み係数	全体
<b>QH</b> すまいの環境品質		-	-	<b>3.5</b>
<b>QH1</b> 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	<b>3.4</b>
1 暑さ・寒さ		3.1	0.50	3.1
1.1 基本性能		4.8	0.50	-
1 断熱等性能の確保	健康・安心	5.0	0.80	-
2 日射の調整機能	健康・安心	4.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		2.0	0.25	-
1 風を取り込み、熱気を逃がす		3.0	0.50	-
2 適切な冷房計画		1.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		1.0	0.25	-
1 適切な暖房計画		1.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		3.5	0.30	3.5
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心	3.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心	3.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防災	3.0	0.25	-
3 明るさ		3.0	0.10	3.0
3.1 屋光の利用		3.0	1.00	-
4 静かさ		5.0	0.10	5.0
<b>QH2</b> 長く使い続ける		-	0.30	<b>4.3</b>
1 長寿命に対する基本性能		4.5	0.50	4.5
1.1 躯体	防災	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		4.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		4.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防災	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.6	0.20	-
1 火災に耐える構造		4.0	0.65	-
2 火災の早期感知		3.0	0.35	-
2 維持管理		5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ		5.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.5	0.25	3.5
3.1 広さと間取り		3.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		4.0	0.50	-
<b>QH3</b> まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	<b>2.8</b>
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	3.0	0.30	3.0
2 生物環境の創出		1.0	0.30	1.0
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり	1.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防災	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
<b>LRH</b> すまいの環境負荷低減性		-	-	<b>3.8</b>
<b>LRH1</b> エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	<b>4.7</b>
1 総合的な省エネ		4.9	0.75	4.9
1.1 躯体と設備による省エネ	省エネルギー性能	5.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能	4.0	0.10	-
2 水の節約		4.5	0.15	4.5
2.1 節水型設備		5.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		3.5	0.10	3.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能	4.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能	3.0	0.50	-
<b>LRH2</b> 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	<b>4.0</b>
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		3.4	0.60	3.4
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1 木質系住宅		3.0	1.00	-
2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		5.0	0.20	-
1.4 内装材		3.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		5.0	0.30	5.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		5.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		5.0	0.33	-
2.3 施工段階		5.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		5.0	0.10	5.0
3.1 使用材料の情報提供		5.0	1.00	-
<b>LRH3</b> 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	<b>2.6</b>
1 地球温暖化への配慮		3.8	0.33	3.8
2 地域環境への配慮		2.0	0.33	2.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		1.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		2.0	0.33	2.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		1.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-